

法政大学 言語・文化センター主催 講演会  
後援: 日本サルトル学会

# Érotisme, désir et sadisme chez Sartre

サルトルとボードレール  
ボーヴォワールとサド



ハッティンガム・トレント大学  
名誉教授  
Jean-Pierre Boulé

哲学、小説、演劇、伝記などの著作を通じて「性」の存在論的な考察を試みながらも自らの性についてあまり語らなかったジャン＝ポール・サルトル。この問題に関して、サルトル、シモーヌ・ド＝ボーヴォワール、エルヴェ・ギベール、アブデラ・タイアなどの研究者であるジャン＝ピエール・ブレがサルトルのボードレール論、ボーヴォワールのサド論を軸に語ります。

日時： 2025年6月4日(水) 18時-19時30分

場所： 法政大学市ヶ谷キャンパス  
大内山校舎 Y702教室

申し込み： 不要

お問合せ先： 国際文化学部 教授 鈴木正道  
masamiti@hosei.ac.jp

講演はフランス語で行います。通訳はつきません。